

第2回 女性の再チャレンジ支援策 検討会議 (平成18年度政府案)



平成17年12月
経済産業省

女性の再チャレンジのための支援策（平成18年度）

平成17年12月
経済産業省

女性の起業家割合が増加。特に、子育て期を含めた年齢層が高い。
女性の側からのニーズでは、再就職、起業の双方とも、保育施設の充実など、両立支援策を必要としている。また特に、起業に対しては、起業に関する指導・相談、情報提供、金融面などの支援策を求める声大きい。

女性の起業や両立支援策の措置が必要。

起業支援

起業に関する指導・相談、情報提供

創業人材育成事業 16.1億円の内数

・全国の商工会・商工会議所で女性を対象にした「創業塾」等を開催。

・創業のための実践能力の修得、新事業展開に必要な知識・ノウハウの体得体験。また、専門家による起業に関する指導、関連情報の提供を実施。



起業に関する金融面の支援

女性、若者/シニア起業家支援資金 財投

・起業意欲のある女性・若者・高齢者への融資を行い、新規産業、雇用の創出を図る。

新創業融資制度 財投

・事業計画の的確性を審査し、無担保・無保証人で起業者に融資する。



両立支援

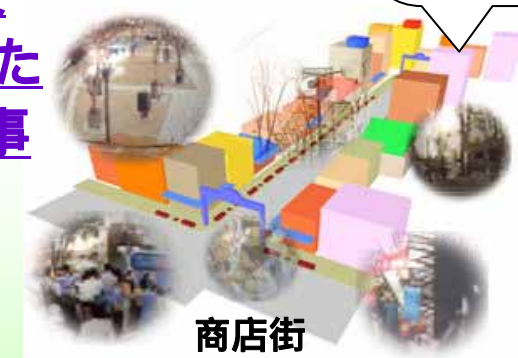
地域におけるネットワークの構築によるチャレンジ支援

少子高齢化等対応中小商業 活性化施設整備事業 15.1億円の内数

少子高齢化等対応中小商業 活性化支援事業 13.8億円の内数

・商店街振興組合等が取り組む少子高齢化等に関する商業施設（例えば、空き店舗を活用した保育サービス施設）の整備事業に対する補助。

空き店舗を活用した
保育サービス



商店街

再就職に関する支援

中小企業少子化対応経営普及事業

0.9億円の内数

・中小企業における仕事と育児を両立するために必要なベストプラクティスマニュアルを作成し、普及を図る。

女性の再チャレンジに寄与すると考えられる事例

起業に関する指導・相談、情報提供

女性向け創業塾の例

あなたのためのセンスを発見
女性のための起業塾
 成功したいなら……
 成功プロセスを勉強しましょう!!

7/16 (19:00-17:00)
 7/23 (19:00-17:00)
 7/30 (19:00-17:00)
 8/6 (19:00-17:00)
 8/7 (19:00-17:00)

福岡商工会議所 TEL.092-441-2170
 FAX.092-441-1149
 URL: http://www.fukunet.or.jp

「女性向け創業塾」のパンフレット(例)



女性向け創業塾の講習風景

【福岡商工会議所で行われた女性向け創業塾のカリキュラム(例)】

- | | |
|--|--|
| <p>1日目 女性と起業活動の関係を考える
 - 起業の光と陰: 起業の罠に陥らない知恵 -
 お金をかけずに商売を繁盛させるヒント
 「女性の応援団」という新しい事業領域に挑む
 - 当初4万円の売上高を2億2千万に -</p> <p>2日目 時代の変化を起業に生かす観察力の捉え方
 起業とお金の密接な関係について
 - お金の上手な管理と借入への心へ -
 女性と起業に関するパネルディスカッション</p> <p>3日目 自分らしく事業にチャレンジする
 - 「何になれるか」より「何になりたいか」 -
 今、目が離せない中国ビジネス事情
 起業における会計の重要性と税務処理のコツ</p> | <p>4日目 ビジネスプランの立て方、まとめ方
 模擬ビジネスプランの作成
 (グループ演習)
 併行して「個別起業相談」も実施。</p> <p>5日目 事業主に求められるプレゼンテーション力
 模擬ビジネスプラン
 (グループ演習・発表)</p> |
|--|--|

専門家の指導等による短期集中研修を実施(10日間30時間)。
 平成17年度までに累計で全国で約2千件の創業塾を開催
 (うち、女性に限定した創業塾は約2百件開催)

両立支援

空き店舗を活用した保育サービスの例

【川崎市 モトスミ・オズ通り商店街の取組(例)】

託児・寺子屋塾を実施。ボランティアの心あるまちづくりを展開。
 商店街の空き店舗を利用し、託児サービス、寺子屋塾を開講。
 託児サービス: 保育士を常駐。商店街の買い物客に限り未就学児童を無料で預かり。

寺子屋塾: 近隣大学のボランティアサークル(慶応大学等)の協力の下、小学生対象の勉強や遊技を実施。関連したフェスティバルも開催。
 取組が徐々に浸透。地域住民に「我が町の商店街」と再認識された。
 来街しにくい環境にあった子育て中の20~30代の母親の来街が

増加。商店街が活性化。



【徳島市 籠屋町商店街の取組(例)】

親子交流施設の開設により親子連れの来街者が増加。

商店街のにぎわいを取り戻すため、商店街振興組合が事業主体となり、近隣の7商店街と共同で「子育てほっとスペース(すきっぷ)」を設置。

保育士を含む2名以上のボランティアが常駐。絵本の読み聞かせや子育ての情報を発信(徳島子育て通信)。運営はNPOに委託。

マスコミでクローズアップされ、来街者が増加。街が活性化。

